

平成20年度夢づくり協働推進事業の実施状況 24

事業名

森林ボランティア育成支援事業（高粱美しい森）

事業の概要

近県、林業労働力の減少・高齢化や施業意欲の減少等により放置された森林が増加しており、森林生態系の維持や公益的な機能の発揮に支障が生じている。

このため、高粱市においても、森林ボランティア等による森林保全の取組が必要かつ急務であり、森林整備を目的としたグループ（NPO法人 ふれあいの里・高粱）の自主的な活動を推進するための育成支援を行うとともに、森林ボランティアの育成・拡充を図ることを目的として、NPOとの協働により「森林ボランティアのつどい」を開催した。

協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
NPO 法人ふれあいの里・高粱	一般県民の参加募集・イベントの企画運営
森林ボランティア・一般県民	マツ林の整備、キノコの植菌、人工林の間伐
高粱地方森林組合	間伐の技術指導
高粱市	「高粱美しい森」の管理運営
県民局高粱支局（地域農林水産室）	森林施業の技術指導、情報提供

実施状況

1 森林ボランティアの育成支援

県内企業に対しCSR活動として森林整備を実施するよう働きかけ、新たに㈱オムロンとNPOが作業実施についての契約を締結した。また、NPOの基盤強化に資するため、企業・個人に働きかけ会員の募集を実施した。



企業（㈱オムロン）のCSR活動の様子

2 「森林ボランティアのつどい」の開催

- (1) 日 時：平成21年2月7日（土）
- (2) 開催場所：高梁美しい森（高梁市松山地内）
- (3) 実施内容：一般県民、NPO、森林ボランティア、里山ボランティアマスター講座受講者、地元住民の参加によりマツ林の整備及び原木伐採、キノコ植菌を行った。
- (4) 参加者：125人（内ボランティアマスター36名）
- (5) 実施面積：0.15 ha



森林ボランティアのつどい

成果・効果

- 1 森林ボランティアの育成支援については、(株)オムロンに働きかけ、年3回実施する森林保全活動について、NPOとの委託契約を締結した。また、新規会員の募集・勧誘を実施した結果、設立当時の52人（会員46人・6団体）から80人（会員70人・10団体）と会員数も増加し、NPOの財政的、人的基盤の強化が図られた。
- 2 「森林ボランティアのつどい」については、125人の一般ボランティアが参加し、高梁美しい森内のアカマツ林の整備が促進された。